

質 問 回 答

2020年11月27日

2020年12月9日

「ザンビア国ルサカ市における都市開発及び都市交通に係る情報収集・確認調査(QCBS)」

(公示日:2020年11月18日/公示番号:20a00759)について、質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
<2020年11月27日回答>			
1	P17(5)第3次国内調査・作業 (2021年7月上旬~7月下旬)	左記説明では、7月下旬までにFRの取り纏めとなっていますが、P18の(6)ファイナル・レポートでは、「提出時期:2021年9月中旬まで」となっています。第3次国内調査・作業期間は2021年9月中旬までとの理解でよいでしょうか。	ご理解のとおりです。P17の第3次国内調査・作業期間に記載誤りがあり、以下のとおり訂正いたします。 誤:2021年7月上旬~7月下旬 ↓ 正:2021年7月上旬~9月中旬 ただし、ドラフトファイナルレポートを提出いただいたのち、JICA内部にて確認・コメント作成等の期間を経てから修正作業に入っていただくため、7月中旬から9月中旬の全期間において国内作業に従事いただくことを想定しているわけではありません。
2	P21(1)業務工程 本調査は2021年2月より開始し、2021年11月30日を履行期限とする。	FRの提出は2021年9月中旬となっています。FR提出から履行期限までの期間が長くなっている理由は何でしょうか。	新型コロナウイルスの影響もあり、渡航時期等業務スケジュールに変更が生じる可能性があるため、履行期限に余裕を持たせております。
3	P21(2)業務量目途と業務従事者 構成案	左記の想定MMに対して、評価対象従事者のMMはどの程度を想定されていますか。	MMの想定は以下の通りですが、これに縛られるものではありません。必要なMMをご提案ください

	1)業務量の目途 約 21 人月(M/M)		い。 <参考> ・業務主任者/都市計画:2.9 人月(M/M)程度 ・都市交通/道路計画:3.3 人月(M/M)程度
<2020 年 12 月 9 日回答>			
4	—	本件におけるマスタープランにかかる調査、内環状道路フェーズ2の調査の双方とも、環境カテゴリBを前提と理解してよろしいでしょうか。	前提として、現時点ではカテゴリ分類を想定していません。本調査の中で、候補案件における住民移転、環境影響等の観点から整理を行います。
5	P11 1.調査の背景 第3段落	「他方、残るルサカ市内の内環状道路(約7 km。以下、「内環状道路フェーズ2」とする。)」につきまして、2009年マスタープランで提案している内環状道路の残り区間は「Kafue Rd～Mumbwa Rd」までの3.35 kmですが、本調査における内環状道路フェーズ2は先方政府の提示案である「Kafue Rd～Mungwi Rd」までとの認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし、ルート案としてより適切なものがあれば、先方政府の提示案にこだわるものではありません。
6	P16 ⑤都市開発(特に、低所得層居住地区(以下、「コンパウンド」とする)の開発)の課題分析(工)	「内環状道路の計画対象地区に位置する6つのコンパウンドの内」とありますが、ザンビア政府が提案している内環状道路フェーズ2の計画対象地区という理解でよいでしょうか。 また、内環状道路フェーズ2を対象としたRAP報告書(2016年11月)では3つのコンパウンド(Misisi, Chibolya, Kanyama)を対象としていますが、あとの3つはどのコンパウンドを指しているのでしょうか。	ご理解のとおりです。ご参考まで、残りのコンパウンドは、以下のとおりです。 <参考> - Industrial Area (Mungwi Rd) - Zingalume - Barlastone
7	P.17	「なお、比較検討の際には各ルートにおける住民移転数をはじめとした、環境社会配慮に関する	ご理解のとおりです。

		<p>る概要調査を行うこと。精緻な移転戸数の提示は不要であるが、誤差 10%程度以内の精度にて移転戸数の算出を行ったうえで、移転人数の概算を出すこと。」と記載があります。</p> <p>概要調査までとのことですので、貴機構のプロジェクト審査に必要な環境影響評価(EIA)、住民移転計画(RAP)または簡易住民移転計画(ARAP)の作成は本調査では不要、今後の調査で作成予定と理解してよろしいでしょうか。</p>	
--	--	---	--

以上